

安城市図書館運営基本計画【概要版】

2020年4月策定

1 運用サービス上の課題の整理～「望ましい基準」における本市の現状

貸出密度上位の公立図書館整備状況2018(日本図書館協会編)に基づく目標基準例

項目	人口15-20万人 安城市		【達成率】	項目	人口15-20万人 安城市		【達成率】
	望ましい基準	2017年度実績			望ましい基準	2017年度実績	
1 図書館数	6.0	1.0	16.7%	14 雑誌年間購入種数	637.8	283.0	44.4%
2 図書館専有延床面積	6,731.2	6,808.4	101.1%	15 新聞年間購入種数	68.0	35.0	51.5%
3 自動車図書館数	0.7	0.0	0.0%	16 登録者数	122,802.4	103,422.0	84.2%
4 専任職員数	26.7	12.0	44.9%	17 貸出点数	1,822,612.0	1,873,642.0	102.8%
5 うち司書	18.8	7.0	37.2%	18 人口当貸出点数	9.9	9.9	100.3%
6 司書率	70.6	58.3	82.6%	19 予約件数	397,938.5	198,281.0	49.8%
7 非常勤・臨時職員数	48.0	77.6	161.7%	20 図書館費(経常費)	345,795.2	278,035.0	80.4%
8 うち司書	17.2	34.0	197.7%	21 資料費(臨時含む)	75,145.8	82,858.0	110.3%
9 委託・派遣職員数	13.4		0.0%	22 うち図書費	59,608.5	71,400.0	119.8%
10 うち司書	9.7		0.0%	23 うち雑誌新聞費	10,922.8	7,858.0	71.9%
11 蔵書冊数	860,229.5	727,733.0	84.6%	24 うち視聴覚費	2,036.2	3,600.0	176.8%
12 うち開架冊数	637,383.8	486,565.0	76.3%	25 人口当資料費	410.2	439.1	107.0%
13 図書年間購入冊数	40,146.0	50,581.0	126.0%				

※「日本の図書館2018」をもとに日本図書館協会事務局が作成した人口15-20万人区分52市における貸出密度上位6市の平均数値。

目標基準例 25 項目中、達成率 80%未達は 8 項目。うち図書館数は、公民館等図書室を分館としないため、基準値 6.0 館に対し本市は 1 館ですが、それ以外の未達成項目を運営上の課題として捉えることとします。

2 図書情報館開館以降の特徴（強み）と課題（弱み）

本市の特徴【強み】

- ① 旧来の日本十進分類法(NDC)順に捉われない「らB o o k s」に代表される本市独自の「ジャンル別排架」
- ② 地域資料の収集・整理・保存を担う公的機関としての役割
- ③ レファレンスサービスの実施とレファレンス協同データベースの活用による事例の蓄積
- ④ 公民館図書室等サービスポイント 12 か所への毎日配送による迅速な資料提供と、「どこで借りても返してもよい」という柔軟な運用
- ⑤ 子育て支援（つどいのへや）、健康講座（健康支援室・講座室）、ビジネス支援センター等の専門的サービスの提供
- ⑥ ボランティアと連携したきめ細かな児童サービスの歴史
- ⑦ 学校図書館連携事業による小中学生への読書、学習支援
- ⑧ 会話と飲食を原則容認して人の交流を促進する運営
- ⑨ 読書や貸出利用の幅を広げるきっかけ作りとなる展示
- ⑩ 市直営による職員やスタッフの専門性に裏付けられたサービスの継続性、関係機関との連携、新たな図書館サービスへの挑戦
- ⑪ レベルの高い接遇とインカムを利用した迅速な対応
- ⑫ ICTを駆使した（自動貸出機、自動返却機、IC書架の予約本コーナー、24時間予約本受取機、電子新聞等）高い利便性
- ⑬ 館外貸出・施設予約利用に際し、住所要件を撤廃したことによる広域からの利用

サービス上での課題【弱み】

- ① 地域資料（行政資料を含む）の網羅的な収集と、デジタル化を含めた体系的な整理・保存が不十分【重点施策1-（2）】
- ② 雑誌及び新聞の購入種数が「望ましい基準」の半分程度【重点施策1-（1）】
- ③ 実利用者に地域的な偏りがある【重点施策2-（3）】
- ④ 図書館リピーターである実利用者が 34,000 人程度に留まっている【重点施策3-（2）】
- ⑤ レファレンスサービス及び外部データベースの周知と活用が不十分【重点施策2-（2）】
- ⑥ ビジネス支援センターとの連携が不十分【重点施策2-（7）】
- ⑦ 障害者、高齢者、外国人等支援を必要とする人へのサービスが不十分【重点施策1-（4）】
- ⑧ 編集録音スタジオ、ディスカッションルームの周知と活用が不十分【重点施策3-（1）】
- ⑨ 図書館の専門資格である司書資格を保有する職員が不十分で、いびつな年代構成【重点施策4-（1）】

3 図書館サービスのあるべき姿とは

本市が位置づける図書館サービスの根幹は、**選書とレファレンス**であると考えます。専門職員である司書を中心に、間接サービスの選書と排架を継続して適切に行い、直接サービスのレファレンス等のスキルを磨いて、市民のために図書館サービスの水準を持続することを、本市における図書館サービスの中心的なミッションとして位置づけます。

これにより、現行の「第8次安城市総合計画」では、計画最終年の2023（令和5）年度において、①貸出密度は12冊以上、②市民実利用者数は3万6,000人以上、③アンフォーレ本館の入館者数は年間100万人を維持することを数値目標として掲げています。

そこで、本計画の基本数値目標を、上位計画における3つの指標に、④図書情報館の入館者数、⑤図書年間購入冊数、⑥レファレンス協同データベースへの事例登録件数を加えて、次のとおり設定します。

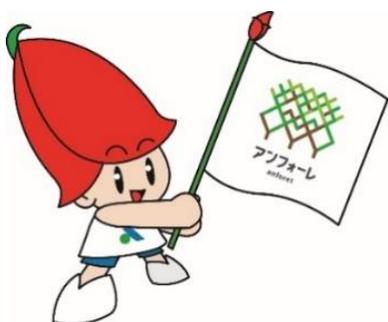
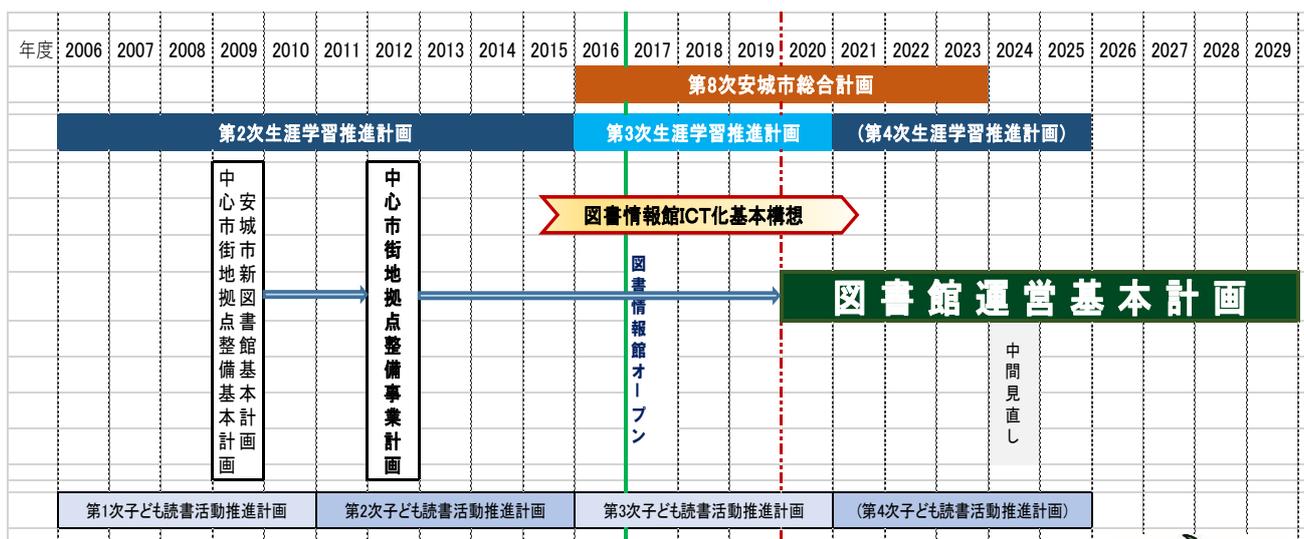
【総合計画で掲げる目標指標】及び【本計画での基本目標値（網掛け部分）】

	2018年 実績値	2023年 総計目標値	2029年 本計画目標値
① 市民一人あたりの図書年間貸出冊数	10.66冊	12.00冊	12.50冊
② 図書館の市民実利用者数	32,942人	36,000人	37,000人
③ アンフォーレ本館の入館者数	1,221,192人	年間100万人を維持	年間100万人を維持
④ 図書情報館の入館者数	784,302人		795,000人
⑤ 図書年間購入冊数	45,342冊		48,000冊
⑥ レファレンス協同データベースへの事例登録件数	277件		300件

4 図書館運営の基本方針

【計画期間】2020(令和2)年度から2029(令和11)年度までの10か年

※必要に応じて2024(令和6)年度に中間見直しを行う



【基本理念】

市民のライフステージをサポートする「知の情報拠点」を目指して

基本方針1 多種多様な資料の収集・整理・保存

ハイブリッド型図書館として、市民ニーズに合わせた多種多様な資料の収集・整理・保存

重点施策1－（1）資料の継続的な収集・整理

「図書館資料収集方針」に則り、地域の特性や課題に合わせた魅力的で新鮮な蔵書の構築

【目標指標①】

指標名	現状値 2018	中間年 2024	最終年 2029
図書年間購入冊数	45,342 冊	47,000 冊	48,000 冊

重点施策1－（2）地域資料の網羅的な収集・整理

地域資料の網羅的な収集・保存と計画的なデジタル化

【目標指標②】

指標名	現状値 2018	中間年 2024	最終年 2029
安城資料（南吉資料含む）の蔵書数	15,500 点	18,500 点	21,000 点

重点施策1－（3）資料の保存

「図書館資料除籍方針」に則り、適切な除籍と魅力的な蔵書の構築

基本方針2 きめ細かな図書館サービスの拡充

あらゆる世代の課題解決のため、レファレンスサービスをはじめとした図書館サービスを実施

重点施策2－（1）図書館資料の提供

ハイブリッド型図書館として、紙媒体資料をはじめ、電子書籍やインターネットアクセス手段の提供など情報に関わる様々な利用機会の創出

【目標指標③】

指標名	現状値 2018	中間年 2024	最終年 2029
市民一人当たりの図書年間貸出冊数	10.66 冊	12.00 冊	12.50 冊
図書館の市民実利用者数	32,942 人	36,000 人	37,000 人
電子書籍のべ貸出回数	1,890 回	3,000 回	3,400 回

重点施策2－（2）レファレンスサービス

レファレンスサービスの一層の充実・高度化を図るため、継続的な職員研修と技能向上に努め、市民へのレファレンスサービスを周知

【目標指標④】

指標名	現状値 2018	中間年 2024	最終年 2029
レファレンス協同データベース年間登録件数	277 件	290 件	300 件

重点施策2－（3）公民館図書室等の充実

今後も各公民館などの協力を得ながら、全市的な図書館サービス網を維持

【目標指標⑤】

指標名	現状値 2018	中間年 2024	最終年 2029
公民館図書室等サービスポイント個人貸出点数	848,819 点	960,000 点	1,000,000 点

重点施策2－（4）支援を必要とする人へのサービス

障害者や外国人等、図書館利用に支援が必要な方々へのサービスの在り方を常に模索

【目標指標⑥】

指標名	現状値 2018	中間年 2024	最終年 2029
外国語資料※の蔵書数 ※洋書・児童洋書・洋書絵本の総数	4,693 冊	5,400 冊	6,150 冊

重点施策2－（5）健康支援サービス

健康づくりの講座や健康・医療コーナーの充実による市民の健康づくりの支援

重点施策 2－（6）子育て支援サービス

「つどいのへや」でのつどいの広場事業の展開

重点施策 2－（7）ビジネス支援サービス

ビジネス支援センター「安城ビジネスコンシェルジュ（ABC）」との連携による安城市ならではのビジネス支援サービスの展開

重点施策 2－（8）児童サービス

「安城市子供読書活動推進計画」に基づいて、次世代を担う子どもたちへのサービス提供

重点施策 2－（9）政策支援サービス

市議会議員や市職員等の政策立案・決定や行政事務に必要な情報収集を支援

重点施策 2－（10）ガイダンス・利用案内

図書館サービスについて知ることを目的としたガイダンスの定期的な開催

基本方針 3 市民の知的な交流の推進

アンフォーレの集客力を活用した市民の文化的交流拠点に

重点施策 3－（1）市民の知的活動を支援する場の提供

他の迷惑にならない範囲での会話・飲食を可能とし、図書館資料を介した利用者同士の交流を促進する方針を維持し、図書情報館が市民のサードプレイス（第3の居場所）として機能

【目標指標⑦】

指標名	現状値 2018	中間年 2024	最終年 2029
図書情報館の入館者数	784,302 人	790,000 人	795,000 人

重点施策 3－（2）読書活動推進事業の開催

多くの市民が図書館や読書に興味を持てるよう、多種多様なイベントや講座を継続的に開催

重点施策 3－（3）ボランティアとの協働

ボランティアの拡充とスキルアップ機会の提供で、市民と協働した図書館サービスの充実

重点施策 3－（4）情報発信

積極的な情報発信を進め、地域の報道機関等と連携した新たな利用者層の開拓

基本方針 4 効果的・継続的な図書館運営のための人材の育成と ICT 機器等の運用保持

多様・高度化する市民ニーズに対応できる専門的人材の育成と、ICT 機器の適切な運用

重点施策 4－（1）人材の確保と配置

館長や専門的職員（司書職）等の適切な確保と配置。図書館スタッフの意欲を高める工夫と風通しの良い効果的な組織づくり

重点施策 4－（2）研修の実施

毎月第4金曜日を活用した様々な全体研修を実施して、スタッフの人材育成とスキルアップ

【目標指標⑧】

指標名	現状値 2018	中間年 2024	最終年 2029
全体研修の実施回数	11	11	11

重点施策 4－（3）ICT 機器等の利活用

市民へのサービス向上と効率化のため、ICT 機器等の適切な維持管理と更新

重点施策 4－（4）運営体制

図書情報館の運営は市の直営を堅持

5 重点施策の点検と評価

安城市図書館協議会による第三者評価と、WEBサイト上での公表